

教科	課題（現状、傾向、課題分析）	改善プラン（改善のための具体策や取組）	成果(○)と課題(△)
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物語文や説明的文章の要旨を捉えることに課題が見られる児童がいる。</li> <li>・相手意識をもって話したり、聴いたりすることに課題がある。</li> <li>・自分の考えを分かりやすく文章に表すことに課題がある。</li> <li>・漢字や言葉のきまりについての理解に個人差がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場面や段落ごとに重要な語句に着目して読み、話の中心を捉えられるようにする。</li> <li>・ノート指導の充実を図り、物語の登場人物の気持ちや、文章の要約を自分なりに表現させる。</li> <li>・友達と意見を交流する機会を多く設け、自分の考えを話したり、友達の考えを聴いたりすることの楽しさを味わえるようにする。</li> <li>・SSTの時間を活用し、話し方、聴き方を適宜指導する。</li> <li>・書くことを習慣付けるとともに、推敲したり、友達と読み合ったりして、表現力を高める。</li> <li>・漢字の小テスト、学期の中間と最後のまとめのテストを定期的に行い、理解を定着させる。</li> </ul>	
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な資料を集めたり、選んだり、そこから必要な情報を読み取ることに課題のある児童が多い。</li> <li>・社会的な見方・考え方を働かせながら、社会的事象について解決する力や、選択・判断する力を伸ばしていく必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どのような資料が必要かを児童に考えさせ、資料集やインターネットを使った資料集めを行う。</li> <li>・電子黒板を利用した効果的な資料提示を行う。また、その資料から特徴や考察をノートやワークシートに書く指導を繰り返し行う。</li> <li>・課題について、見通しをもって追究させることで、児童が見方・考え方を働かせながら学習に取り組めるようにする。また、比較・分類など様々な追究の方法を示しながら、社会的事象の特色や相互の関連、意味を考えることができるようにする。</li> </ul>	
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎基本となる学習理解の定着を図る必要がある。</li> <li>・多様な考え方や表現の仕方や捉え方をすることに課題がある。</li> <li>・丁寧に問題を解いたり、深く考えたりすることが苦手な児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・習熟度別指導で児童の習熟に合った指導を展開する。</li> <li>・習熟度を測る小テストを定期的に行い、習熟の度合いを明確にする。</li> <li>・問題を解くことだけを指すのではなく、いくつもの方法で問題を解いたり、様々な解き方を説明したりする授業を展開する。</li> <li>・解決の必然性のある問題を提示し、問題→めあて→（見通し）自力解決→集団解決→まとめ（適用問題）という学習展開を基本とし、見通しをもって活動したり、考えたりでき</li> </ul>	

		るようになる。	
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実感を伴った学習活動を充実させる必要がある。</li> <li>・実験や観察の結果を分かりやすく表し、結論を導き出す力を高める必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体物を用いたり、実験を積極的に行ったりし、実感を伴った理解をさせるようになる。</li> <li>・結果から言えることを考察し、結論を導き出し、ノートに簡潔に書くことを積み重ねる。</li> </ul>	
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明るい歌声に響きが増すようになってきた。どの音域でもバランスよく自然な歌い方の定着を図る必要がある。</li> <li>・異なる旋律の重なりを聴き合いながら歌うことができる。</li> <li>・旋律と伴奏の役割を理解してリコーダーやキーボードを演奏して合わせることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常時活動から声の出し方や姿勢などを端的な声掛けを続け、音域が高くなっても自信をもって響かせられるようになる。</li> <li>・聴き合うことができていると歌声が丁寧で柔らかくなるため、今後も少人数での活動などを工夫し続ける。</li> <li>・旋律と伴奏を合わせた心地よさを感じられているため、今後はより多くの音の重なりを聴いたり感じ取ったりできる学習の充実を図る。</li> </ul>	
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・画材や道具などの扱いが雑になってしまうことがある。</li> <li>・表したいものに応じて既習した技法を活用しようとする児童が少ない。</li> <li>・自分の感覚や想像力を通して考え、表現することが少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・画材や道具の正しい扱い方を図などを用いて分かりやすく示し、物を大切に扱うように指導する。</li> <li>・これまで経験した技法を振り返ったり、目に見える形で掲示したりして、活用できるようにする。</li> <li>・すぐにタブレットで参考画像を検索するのではなく、過去の経験や思い出を基にして表現するように指導する。</li> </ul>	
家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・裁縫では、意欲や縫い終わるまでの時間に差が見られたが、基本的な縫い方は習得する姿が見られた。また家庭や休み時間などにすすんで手縫いの小物を製作し、紹介する姿が見られた。</li> <li>・裁縫道具の本来の使い方を確認し、安全に十分注意するよう指導した。</li> <li>・調理実習では、調理方法に関心をもって安全に気を付け、手順を守って活動できた。</li> <li>・実習を振り返ることで、今後、家庭でも実践してみたいという声が挙がった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・裁縫の仕方や調理実習の手順をイラストや動画で提示したり、書画カメラで見本を示したりし、視覚的に分かりやすい授業を展開する。</li> <li>・生活と結び付けて学習できるように、家庭と連携しながら学習を行う。</li> <li>・実習では安全に十分に気を付け、実感を伴った理解や生活に役立てようとする気持ちを意識して、指導する。</li> </ul>	
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チームでアドバイスしたり、励ましたりしながら運動することができる。</li> <li>・自分の課題を把握し、課題解決に向けて意欲的に取り組み、技能の高まりを実感させることに</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループで作戦を考えたり、その結果を振り返ったりする時間を設ける。</li> <li>・勝敗だけにこだわらなく、全体で学ぶ環境を大切にしたい指導を行う。</li> <li>・技能ポイントを明確にし、具体的な声掛けや、示範を取り入れる。</li> </ul>	

	<p>課題がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習カードを活用し、見合い、教え合いの視点を明確にしながら、活動していく。</li> <li>・1時間ごとに自分のめあてを考えさせ、その時間での達成の度合いを振り返り、達成感を味わわせていく。</li> </ul>	
外国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意欲的に声を出し、歌を歌ったり、友達と会話練習したり、意欲的に取り組む児童が多い。</li> <li>・学習した内容を使って、友達やALTとコミュニケーションを取ることを楽しんでいる様子が多く見られた。</li> <li>・アルファベットの大文字は理解しているが、小文字はもう少し練習が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての児童が英語の学習を楽しむことができるよう、前向きな言葉かけをする。</li> <li>・身近な英語を使い、自分の気持ちや考えを伝え合える場を設け、友達の良さを認め合えるようにする。</li> <li>・書く活動を計画的に取り入れ、大文字と小文字の違いに気を付けるよう指導する。</li> </ul>	
道徳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他者の考えを受け止め、自分の考えを深められるようにすることに課題がある。</li> <li>・自分事として考えることに個人差が見られる。</li> <li>・自分の考えや意見をもってはいるが、発信をする児童が限られている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアやグループ、クラス全体での意見の共有を行い、話し合う活動を充実させる。</li> <li>・自分自身を振り返る学習を展開し、じっくりと考える時間を確保する。</li> <li>・話しやすい環境作りを行う。また小グループやペアでの話し合いの時間を設けて、自分の思いや考えを伝える経験を積み重ねていく。</li> </ul>	
総合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他者と協働して調べたことを発表したり共有したりする活動を充実させる必要がある。</li> <li>・調べる際にインターネットに頼る傾向がある。図書資料の活用方法を再確認したことで知りたい内容によって調べ方も吟味するようになってきた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレット、紙芝居、劇、レポート等、発表の仕方を多様化したり、調べたことを共有したりすることで、他者と協働しながら課題を解決しようとする学習活動を充実させる。</li> <li>・図書室での資料探しや近隣図書館からの団体貸出を利用するなど、環境を整え活用する機会を設ける。</li> </ul>	